

◇気胸

若い年齢層に多い、自然気胸や COPD、肺線維症に合併する続発性気胸に対して、必要時、胸腔ドレーンを留置し、治療をしています。再発性、難治性の場合は呼吸器外科に紹介し、胸腔鏡手術を行うこともあります。